

今、世代を超えて、感涙の大ベストセラー待望の映画化！

バッテリー

監督：滝田洋二郎

林 遣都 山田健太 鎗田晟裕 蓮佛美沙子
萩原聖人 上原美佐 濱田マリ / 米谷真一 太 賀 / 山田辰夫 塩見三省 岸部一徳
天海祐希 岸谷五朗 / 菅原文太

原作：あさのあつこ「バッテリー」(角川文庫刊(教育漫画部刊)) 脚本：森下 直 音楽：吉俣 良 主題歌：熊木杏里「春の風」(KING RECORDS) 撮影：北 信康(4.5.6) 美術：磯見俊裕 照明：渡部 嘉 録音：小野寺修 編集：富田伸子
製作：黒井和男 企画：信国一朗・島谷能成 エグゼクティブプロデューサー：井上文雄・濱名一哉 プロデューサー：岡田和則・岡田有正 配給：東宝 ©2007「バッテリー」製作委員会 www.bt-movie.jp
CGIプロデューサー：坂美佐子 スクリプター：森 直子 助監督：足立公良 製作担当：山下秀治 特別協賛：新日本石油 協力：岡山県
製作：角川ヘラルド映画・日本映画ファンド・TBS・東宝 製作プロダクション：角川ヘラルド映画

いまだからこそ、できることがある。





バッテリー

感動は、世代を超えて…

今、最も支持される大ベストセラー小説、遂に映画化！
2007年春。日本中が、友情・家族の物語に涙します。

'96年に刊行された、あさのあつこ原作「バッテリー」は、世代・年齢を超え、あらゆる人を夢中にさせて累計380万部を突破する大ベストセラーとなりました。能力と自信をあふれさせた孤高の中学生ピッチャー・原田巧が、野球を通じて家族や友人との関係を築きあげていく様は、人々の心を強くつかみました。映画化に挑むのは『陰陽師』シリーズ・『阿修羅城の瞳』等、優れたエンタテインメント作品を送り続けるヒットメーカー・滝田洋二郎監督。主人公・原田巧に3000人のオーディションを勝ち抜いた期待のニューフェイス・林遣都。巧とバッテリーを組む永倉豪に山田健太、

物語

原田巧(林遣都)は、中学入学を控えた春休み、岡山県に家族で引越してくる。巧は、ピッチャーとしての才能に絶大な自信を持ち、同時に他人を寄せ付けられない孤独な面を持っている。家族には病弱な弟・青波(鎗田晟裕)、青波をいたわるあまり巧に冷たくあたってしまう母・真紀子(天海祐希)。野球にあまり関心のない父・広(岸谷五朗)、そして甲子園出場校の有名監督だった祖父の・洋三(菅原文太)。温かい家族でさえ、巧の孤独な面に対する接し方に迷う時があった。

巧はそこで、同級生・永倉豪(山田健太)と出会う。その投球に惚れた豪は、バッテリーを組むことを熱望。二人は、新田東中学野球部に入部する。しかし、待ち受けていたのは、監督の支配下のもと「徹底した管理野球」だった。自分を貫くため、監督に歯向かい衝突していく巧。そんな巧のまっすぐさに同級生・矢島蘭(蓮佛美沙子)は惹かれていく。

巧の弟・原田青波に鎗田晟裕。そして、巧の母親にドラマや映画で活躍の目覚しい天海祐希、父親に日本を代表する演技派・岸谷五朗を迎え、祖父役を菅原文太が演じます。またヒロイン・蘭は、2005年“ミス・フェニックス”オーディションにおいてグランプリを受賞した蓮佛美沙子。主題歌は、資生堂CMソング「新しい私になって」が人気の実力派シンガーソングライター熊木杏里が「春の風」を書き下ろして楽曲提供、こちらも話題沸騰です。

今、注目の中、日本映画史に残る“名作”が誕生します。

順調に見えた巧と豪。しかし、やがてふたりの技術の格差が表面化、バッテリー解消を口にする豪。それを受け入れた巧に弟・青波は納得しなかった。必死に仲を取り持つ青波。

「投げろや！」再びバッテリーとなった二人だったが、折りしもその時、青波が病気で倒れる。弟を野球に巻き込んだことが原因だと母・真紀子は、巧を突き放す。が父・広は、体の弱い弟を思い、親にかまわれない寂しさを紛らわすためにも、野球を必死に続けてきたのでは？と語る。青波は命の危険にさらされながら、行われる強豪中学との試合直前、巧にお願いする。

「勝ってな…お兄ちゃん」

青波の言葉を胸に、巧はグラウンドへと向かった…。



シネマスコープサイズ/ドルビーデジタル/上映時間:1時間58分/日本

2007年3月10日(土)全国東宝系ロードショー

特別鑑賞券発売中! (一般¥1,300 小人¥800)

有楽町マリオン前

YURAKUZA

有楽座

03

(3571)

1946